

コーディネーター通信 No.5

平成30年10月5日

新潟市立内野中学校
地域教育コーディネーター
玉木園子 山岸則子 木竜吉子

<3年生総合「うちのDEまちづくり」>

地域の実態を学び、中学生として自分が地域にできることを考え、提言していく授業の一環として「地域づくりに取り組む方々からお話を聞く会」を開催しました。



防災士 藤田さん



新川まちおこしの会 古俣さん



西内野コミュニティ協議会 岡田さん



新潟西商工会 松原さん



小林佛壇店 小林さん



夢アートうちの 長谷川さん



ウチノ食堂 野呂さん



いちまんグループ 高井さん



新潟大学 Wホーム (Hホーム) の皆さん

<地域ゲスト感想>

- 話しているときに、一生懸命にメモを取っていてくれるのがとてもうれしかったです。「うちの DE まちづくり」に一生けん命に取り組んでいる姿が印象的でした。
- 熱心に聞いてくれる生徒さんの姿が印象的でした。思った以上に時間が足りなかったため、内容を考えて臨めばよかった。
- 学生たちとの話し合いが良かった。
- 新川ほたるへの参加者は少ない様でしたので、中学生の皆さんも参加できるイベントになるといいと思いました。質問に答える時間がなかったのが残念でした。

「うちの DE まちづくり」授業は、12月の「地域への提言」発表会に向けてグループ活動に入ります。継続した学習の様子はまたお知らせしていきます。

【校長コラム】

内野中学校に着任して3年目になりました、校長の藤本です。今号より紙面をいただいて、寄稿することになりました。

「コーディネーター通信」では、地域教育コーディネーターさんから、地域の皆様のご支援により、年々充実度を増している内野中学校の教育活動について、地域の皆様にお伝えしています。

パートナーシップ事業や地域との協働活動について、行政の考え方も含めた内野中学校の取組の方向性・方針についてお伝えしていくつもりです。

今後よろしくお願ひいたします。

3年生・防災学習

《講話》

NPO 法人ふるさと未来創造堂 中野さん



中学生が具体的にイメージできる
わかりやすいお話でした。

《ファシリテーション》



「災害発生時に中学生ができること」をテーマに話し合い。
地域の皆さんにアドバイスをいただきました。



《訓練》



心肺蘇生（講師：ひまわり隊）



毛布を利用した簡易担架
（講師：防災士 早川雄一さん）



水消火器（講師：防災士 藤田金五さん）

～ 生徒の感想 ～

- ・人を救助することは難しいことだけど、自分にできることを皆がすれば中学生でも人を救えることがわかった。
- ・消火器や心肺蘇生の正しいやり方をしっかり知ることができた。簡易担架はもしもの時に役に立ちそうだった。
- ・自分で自分の身を守れることが最善だが、地域の人たちで助け合うことも大事だと思うので、普段から近所の人と仲を深められるようにしたいと思った。
- ・この学習を受けて心肺蘇生ができるようになりけが人を運べるようになったので、もしものことがあったら自信をもってできるようにやることができます。
- ・この内野地域を支えるために普段から気を配り、自分から行動し誰からも信頼されるような中学生になりたいと思った。
- ・私は避難などの経験はなく他人事だと思っていましたが、東日本大震災や熊本地震などの避難所での中学生の活躍を聞いて他人事ではないと思いました。これからは、「もし災害が起きたら」を想定して、自分は何をすべきかを考えて過ごしていきたいです。

内野まつり パレード 9/14



- ・雨も降らずに中学3年の最後のパレードをみんなで演奏できてよかったです。
- ・パレードでは、日ごろ応援してくださる地域の方や保護者の方へ感謝の気持ちを込めて演奏できました。パレードを終え部員の絆が強くなったと感じました。

西幼稚園運動会 9/29

ボランティア
してきました！



- ・道具の出し入れなどの手伝いは、思っていたよりも難しく大変だったけれど、小さい子どもたちが可愛すぎてすごく癒されました。将来の夢に一歩近づけてよかったです。

- ・最初はどんな仕事をするか不安がいっぱいでしたが、一緒にボランティアをした高校生はとても優しくわからない仕事があっても助けてくれて嬉しかったです。園児たちが頑張っている姿を見てたくさんパワーをもらいました。ボランティアに参加したことで、幼稚園の先生や保護者、高校生など地域の人とたくさん会話し繋がりを強められたと思うので良かったです。
- ・詳しい説明や練習がなく、いきなり本番で道具の準備や片付けをしなくてはいけなかったけど、他の人と協力して手伝いをするには楽しかったです。